



富良野をライフワークとする写真家・松永さん

富良野に魅せられ

北海道・富良野をライフワークとしている日本写真協会会員松永均さん(43)(静岡県焼津市)の全国巡回写真展「富良野 紫艶・雪華の美」が1日、名古屋市中区栄の「富士フォトサロン名古屋」で始まった。

展示作品は、全紙大(縦60センチ×横75センチ)などの36点。麦・花畑などの夏の人工的な造形から、雪の結晶が太陽の光に反射し、ダイヤモンドの輝きを放つ冬の富良野まで、好対照な魅力を紹介している。

花畑の夏 結晶輝く冬 日写協会員・松永さん 栄で個展 自然保護訴える36点

松永さんが富良野の魅力にとりつかれたのは20年前。富良野の自然が作り出す壮大な風景は、時間の経過を忘れさせ、多いときで年間90日間も富良野に足を運んできた。

「富良野の現在には、過疎化や、不必要な公共事業などさまざまな問題があり、美しい自然がおびやかされつつある。今度はそれらを写真で伝えていきたい」と松永さん。その自然美と保護の必要性を写真を通して伝えている。同展は6日まで。入場無料。